

# ハーモニー

(第19号)



発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会  
 電話:22-2212 FAX:22-3910 メール:kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

## 審議会の女性委員登用状況がまとまりました。

内閣府は、地方自治体が設けている審議会の女性委員登用状況調査をしております。このほど、下田市の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

	審議会数	うち女性委員の いる審議会数	委員数	うち女性委員数	女性委員 割合
H22.4.1 現在	27	18	345 名	42 名	12.2%
H21.4.1 現在	28	21	333 名	52 名	15.6%

## 子育て環境に思うこと、望むこと

前回発行のハーモニー第 18 号で、敷根の「地域子育て支援センター」やホテルジャパン下田の「職場内託児事業」を取り上げました。

そうしたところ、現役の子育て世代の方、あるいは子育て経験者の方から、男女懇話会のメンバーあてに様々な反響が寄せられましたので、今回「子育て環境に思うこと、望むこと」という特集記事にまとめ、紹介させていただきます。



### ◎40 代女性／子ども 10 歳

『困っていることは、仕事の都合で定時に子どもを迎えにいけないことです。助かったことは、近所の方が子どもに危険なことを声かけして教えてくれることです。望むことは、幼い子を持つ親、小・中・高生、お年寄りが気軽に集まってこられる場所がほしいと思います。』

### ◎40代女性／子ども13歳

『子どもを預ける施設は、職場から近ければ近いほうが安心です。例えば、ちょっとした休みでも様子のをぞけるくらいの環境が良いです。そういった意味から、ホテルジャパンのような、職場と一体の保育施設はうらやましい限りです。』



### ◎40代女性／子ども19歳、16歳

『ホテルジャパンの施設は以前から知っていました。うらやましいと思う反面、同様の施設が備わる共立湊病院など、大手の企業・職場だから可能なのだろうという、あきらめの気持ちもありました。一企業単位ではなく複数企業の集合体(例えば商連など)での運営は、可能ではないでしょうか。』



### ◎30代女性／子ども15歳、12歳

『現在勤める職場は、私用での時間調整が困難な業種であり、ちょっとした子どもの発熱など緊急時に困ったことがありました。幸いわが家は、三世帯同居のおかげで、母に対応してもらいましたが、母がいなければ転職を考えなければならなかったと思います。』



### ◎30代女性／子ども12歳

『公設の施設に子どもを預ける場合、時間制限があるため自分の働ける時間に制約が生じ、結果としてよりよい環境での職を選べないこともありました。様々な職種の方が子どもを預ける公設保育の場合は、預ける時間帯の違いがあるのは理解できます。同じ職種同士で共通の施設があれば、時間制約も解消できるのではないのでしょうか。』



### ◎30代女性／子ども10歳、7歳



『働きながら保育園に子どもを通わせていたときは、子どもの病気が一番大変でした。仕事を休めないこともあるので、病児保育や病後児保育をしてもらえるところがあれば…』と思いました。

保育園に通っていると、薬の服用が朝夕2回になってしまうので、せき、鼻水がなかなか治らず長引いてしまうことも度々ありました。保育園に看護師がいて、昼の薬について対応してほしいと何度も思いました。微熱程度の子の様子も、見てもらえたら…とも思いました。その他、子どもが保育園や小学校で発熱したとき、すぐに職場を離れるのが難しいので、親が迎えに行くまで預かって、様子を見てくれる仕組みがあってほしいと思ったこともあります。また、働く母親にとって、小学校から帰ってから遊びに行ける、児童館のようなものがあると安心です。後になって、「こんなサービスがあったんだ」と思ったことが何度もありましたので、行政はもっと積極的に「こんなことをやっています」とアピールしてほしいと思います。』

### ◎30代女性／子ども5歳、2歳

『職場内保育所とは、小さい子どもを持つ母親にとって、とても理想的です。通勤時間の短縮になるし、忙しくて土日などに仕事をしなければならない場合に助かるでしょう。週に2,3日でも良いから働きたいと考えている人は多いと思います。しかし、保育料は意外と高いので、働くことをあきらめる人も多いのではないのでしょうか。今の社会は、まだ小さい子どもを持つ母親にとって働きにくい環境にあります。行政には、保育料及び保育時間の見直しを検討してほしいのです。群馬県太田市では、公立幼稚園で希望園児に限り、夕方5時頃まで預かり保育を行い、夏季保育も実施していると聞いたことがあります。下田でもこのような制度が導入されれば、少子化対策につながっていくのではないのでしょうか。現在市内の幼稚園でも、4時頃まで預かり保育をしています。利用される方が少ないようで、なんとなく預けにくいと思っています。』



### ◎7歳、2歳の子どもの母親

『私は結婚して、すぐに仕事をやめました。正直に言って、夫の世話は予想以上に大変でした。夫は長時間勤務のため、家事、育児がすべて妻の私にかかってきました。遅く帰宅する夫より、2,3時間遅れて床につくような毎日の暮らしの中で、とても私が働くなど考えられず、育児となればなおさらでした。女性が働き続ける社会をどうやって実現できるのか、皆でもう一度考えてほしいと思います。』



## ◎生後9ヶ月の子どもの母親

『ホテルジャパンの託児、以前私も聞いたことがあり興味がありました。この下田で、託児所を備えた職場があるということは、素晴らしいことです。このような託児施設を持って経営するのは、人件費、設備費、スペースの確保などたくさん問題に対応できる大企業でしかできないでしょう。下田のように中小企業が多いところでは難しいと思いますが、いくつかの企業が集まりこういった施設を共有できれば、私たち働く親世代はより働きやすくなるのではないのでしょうか。たくさんあったらいいなと思った施設は、オムツを換えたり授乳したりするスペース付きのトイレです。市内のあるお店のトイレをよく利用しますが、そこはオムツ交換のスペースが広く清潔なので助かっています。市内の公共施設にも、このようなトイレがもっと整備されればいいと思います。』



**7月13日、ベビーシートが市内4箇所、設けられました。ぜひお気軽にご利用を！  
【下田市役所、市民文化会館、市民スポーツセンター、道の駅開国下田みなと】**

詳しくは、子育て支援ホームページ (<http://shimoda-kosodate.net/>) をご覧ください。

## 女性の会が、男女共同参画啓発キャンペーンを実施しました！



7月1日、下田市女性の会会員10名の方が、市内4丁目の中央公民館駐車場で、男女共同参画啓発キャンペーンを行い、来訪者に啓発リーフレットやポケットティッシュを配りました。

※男女共同参画情報紙「ハーモニー」は、下田市役所ホームページでもご覧いただけます。

アドレス <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/> 下田市役所(Top→市政ガイド→男女共同参画)